

里庄町

防災 ハンドブック



わが家の避難場所はこちらです

ご家族で話し合って記入してください。

里庄町 総務課
TEL.0865-64-3111
FAX.0865-64-3618



<https://www.town.satosho.okayama.jp/life/1/5/>

緊急連絡先

火事・救急 **119** 番

警察 **110** 番

あなたの緊急連絡先を記入しておきましょう。

風水害・土砂災害から身

早め早めの行動が命を守ります

テレビ、ラジオ、インターネットなどで最新の防災気象情報を収集するように心掛け、時間を追って段階的に発表される「予・警報」や「避難情報」を活用して、早め早めの安全確保と避難行動に努めましょう。

※別紙タイムラインを利用してマイタイムラインを作りましょう。

タイムライン 台風情報が発表されてから避難するまでの流れ

気象台からの情報
市町村からの情報

3日前から台風接近前日にかけての行動

① 最新情報を随時確認



早期注意情報

テレビ、ラジオ、インターネットなどで常に最新情報を確認しましょう。

② 住まいへの備え



注意報

家の周り等、風で飛びそうなものは飛ばないように固定しましょう。

③ 危険箇所や避難所の確認

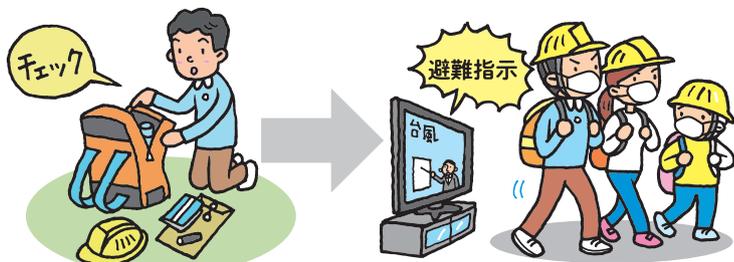


注意報

避難指示が出た際の避難場所、避難経路、危険箇所など、家族で確認しましょう。

台風接近前日から当日にかけての行動

④ 非常持出品の用意 ⑤ 避難指示がでたらすぐに行動



注意報 警報 土砂災害警戒情報
高齢者等避難開始 避難指示

停電・断水や避難に備えて非常持出品の用意をしておきましょう。

「まだ大丈夫」と判断せずすぐに避難をしてください。

外に出るのが危険と判断した場合

⑥ 屋内安全確保（垂直避難）



避難所に行くことがかえって危険な場合は、近くの安全な場所の避難や、自宅内の安全な場所に避難をしましょう。

特別警報 緊急安全確保

警戒レベルと避難のタイミング

洪水や土砂災害に関する防災情報の5段階区分

警戒レベル	避難情報等	住民に求める行動
5	緊急安全確保	命を守るために最善の行動をとりましょう。
4	避難指示	速やかに避難先に避難しましょう。避難場所までの移動が危険と思われる場合は、垂直避難をしましょう。
3	高齢者等避難開始	避難に時間を要する人とその支援者は避難をしましょう。
2	洪水注意報 大雨注意報等	避難に備え、ハザードマップ等により、自らの避難行動を確認しましょう。
1	早期注意情報	最新の気象情報に注意するなど災害への心構えを高めましょう。

高い
危険度
低い

※警戒レベル1と2は、気象庁が発令し、警戒レベル3以上は里庄町が発令します。

を守りましょう。

土砂災害から身を守るために

大雨や長雨、台風、地震などが発生したときに、地盤がゆるみ土石流やがけ崩れなどを引き起こします。
里庄町では、土石流や急傾斜地によるがけ崩れが発生するおそれのある地域が指定されています。
次のような現象を確認したら早めに避難しましょう。

土砂災害の種類と特徴

地すべり

山地の斜面をつくる岩石や土壌が、斜面下方へ移動する現象です。



- 地面にひび割れができる。
- 井戸や沢の水がにごる。
- がけや斜面から水が噴き出す。

がけ崩れ

斜面が突然崩れ落ちる現象です。

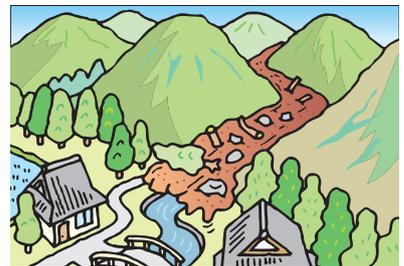


こんな前兆現象に要注意!!

- がけからにごった水がでる。
- 地下水や湧き水が止まる。
- がけから音がする。

土石流

山腹や谷川の石や土砂が一気に下流へ押し流される現象です。



- 山鳴りがする。
- 川がにごり、流木が混ざり始める。
- 腐った土のにおいがする。

土砂災害警戒区域を確認しておきましょう

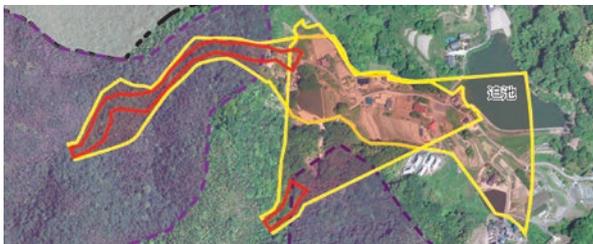
ハザードマップの土砂災害警戒区域等とは

土砂災害警戒区域 (通称: イエローゾーン)

土砂災害が発生した場合、住民の生命・身体に危害が生ずる恐れがあると認められる区域。

土砂災害特別警戒区域 (通称: レッドゾーン)

イエローゾーンの内、建築物に損壊が生じ、住民の生命・身体に著しい危害が生ずる恐れがあると認められる区域。特定の開発行為に対する許可制や建築物の構造規制等がされます。



里庄町内の土砂災害警戒区域

- ・西ノ平地区 ・八ツ的地区 ・川南地区 ・干瓜地区
- ・金山地区 ・林地区 ・古井地区 ・高岡地区
- ・松尾地区 ・大原東地区 ・大原中地区 ・大原西地区

自分の家がどんな位置にあるのか
ハザードマップで確認しておきましょう。

ため池ハザードマップを確認しておきましょう

ため池の氾濫に注意

- ・里庄町内にはため池がたくさんあります。
- ・大雨のときは決してため池に近寄らず、近くにお住まいの方は早めに避難してください。
- ・ひび割れやにごった水の漏れ、水位の上昇などの異常はすぐに町へ通報してください。

里庄町ホームページ
簡易氾濫分析図・
ため池ハザードマップ



<https://www.town.satosho.okayama.jp/soshiki/5/3844.html>



地震

正しい情報を把握し、冷静な行動を

地震の揺れを感じた場合、あるいは緊急地震速報を見聞きした場合は、あわてずにはまずは身の安全を確保してください。

そして、落ち着いてテレビやラジオ、携帯電話やスマートフォンなど、様々な方法で正確な情報の把握に努めましょう。



家庭にいた場合

0 緊急地震速報発表

- テレビやラジオなどで放送されるほか、携帯端末などへ発信される。



1 頭を守り、安全確保

- クッションやバッグ等、身近にあるもので頭を守る。
- 机の下などにもぐり、机の足を持つ。
- あわてて外に飛び出さない。

2 逃げ道を確保する

- 揺れが収まったら、ドアや窓を開けて、逃げ道を確保する。
- ガラスの破片等が落ちているので、靴やスリッパを履いて移動する。



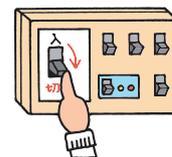
3 火を止める

- 火を使用中なら、火を消しガスの元栓を閉める。(無理して火を消そうとしない。揺れが収まってから火を消す。)
- 出火していたら、初期消火を行う。



4 ブレーカーを切る

- 漏電などによる火災を防ぐ。



5 避難する

- 非常持出品を持って指定の避難所へ移動する。
- 外へ出る際には落下物に注意する。
- 車は使用しない。
- 落ち着いて、忘れ物がないように注意する。
- 戸締まりをしっかり行う。

オフィスなどにいた場合

コピー機、パソコンなどOA機器や什器などが移動してきたり、倒れたりして危険です。机の下に潜り、頭を守りましょう。



エレベーターにいた場合

- すべての階のボタンを押して、最初に止まった階で降りましょう。
- 閉じ込められたら非常用のインターフォンで連絡しましょう。



市街地にいた場合

- 窓ガラスや看板などの落下物に気をつけましょう。
- カバンなどで頭を守りながら、安全な場所に移動しましょう。



津波

海岸付近で強い揺れを感じたら、すみやかにできるだけ高いところへ避難しましょう。
※里庄町内に一部津波浸水想定区域があります。



避難する際の注意点

- 津波警報等発表中は高台に避難し、絶対に低地に戻らない。
- 地震や津波に関する情報を確認する。

運転中の場合

- ハザードランプを灯して、ゆっくりと左側に停車しましょう。
- 車から離れるときには、ドアをロックせずにカギを付けたままにしましょう。
- 車検証を持って避難しましょう。



住宅を耐震化しましょう

診断や補強を行う際に補助金が支給されます！
ぜひ耐震診断を受けましょう。

里庄町農林建設課
TEL.0865-64-7213

避難時の心得

避難指示が出たらすぐに行動

避難指示が出たら、速やかに行動！
「まだ大丈夫」と判断せずすぐに避難をしてください。
万一、避難する余裕がない場合は、
屋内での安全確保をしましょう。

ヘルメットや防災ずきんをかぶる
頭を落下物などから守る

服装は長袖、長ズボンを着用する
材質は燃えにくい木綿などのものを
着用する

避難時の服装

マスクの着用

子どもにも
子ども用の
非常持出袋を
用意する

手袋（軍手）などを
着用する
ガラスの破片などによる
手のけがを防ぐ

子どもには
迷子札を

靴は底が厚くて丈夫な、
履きなれたものを
ガラスの破片などによる
足のけがを防ぐ、靴擦れを防ぐ



要配慮者への思いやり

要配慮者とは、妊婦・子ども・高齢者・外国人のほか、
障がいのある方などです。近隣の要配慮者には思い
やりと支援を心がけましょう。

洪水時の避難の心得

- 履き物に注意する
- 水位の確認
- 安全を確保して避難する



非常持出品は
リュックに入れて
背負う
両手が使える
ようにする



避難所での留意点

避難所はみんなで協力して運営しましょう
食料の分配やトイレ掃除など、やることはたくさんあります。
みんなで協力して共同生活をしましょう。

避難所内ではお互いに譲り合きましょう
慣れない避難所での生活は大変ですが、そんなときだからこそ譲り合いの気持ちを持ちましょう。

避難所では要配慮者への配慮を
要配慮者（高齢者、障がいのある人など）の特性に合わせ、
別に避難スペースを設けるなどの配慮を行いましょう。

避難所では感染予防の徹底を
避難所では、マスクの着用、手洗い、咳エチケットなどの
基本的な対策や、定期的な換気、十分なスペースの確保などの
感染症予防を徹底しましょう。

女性や子どもへの配慮
避難所では、多くの人々が安心して過ごすことができるよう、
女性や子どもに配慮した生活環境を考えましょう。

支援者の方へ

むやみに物資を送らないようにしましょう
個人からの支援物資の受入は非常に手間がかかり、被災地に負担を
かけます。義援金を送るなどの対応を考えましょう。

自主防災組織をつくろう

自主防災組織とは

地震や風水害などの大規模災害が発生した直後は、消防や警察などの公的機関の援助が不足しますので、地域社会が結束して災害に対処することが必要です。そこで、地域住民が自主的な防災活動を行う組織を「自主防災組織」と呼びます。



自主防災組織の活動（例）

手作り防災マップの作成



安全なルートで避難所へ行くため、地域の危険箇所を把握した独自の防災マップを作成

防災勉強会の開催



災害時に備えた防災についての勉強会や、地域住民に向けた自主防災活動の普及

防災資機材の整備



地域で管理している防災資機材の整備。災害時に使用できるように管理

防災訓練の実施

災害時に効果的に活動するには、日ごろからの防災訓練が欠かせません。

行政や学校、事業者などとの連携を図り、町や消防などの協力を得て、さまざまな事態を想定した消火や避難誘導、応急処置などの訓練を計画的に実施し、実践的な災害対応力を養いましょう。

- 初期消火訓練
- 避難誘導訓練
- 避難所運営訓練
- 救護・救出訓練
- 炊き出し・給水訓練
- 情報収集訓練



自主防災組織における役割分担を決めましょう

班の編制の作成（例）

どんなに素晴らしい活動も、一部の役員だけで抱えむと長続きできません。役割は小さくともそれぞれができることを担い、みんなで支え合いましょう！

班名	日常の役割	災害時の役割
総務班	全体調整等	全体調整、他機関との連絡調整
初期消火班	器具の点検等	初期消火等
避難誘導班	避難路点検等	避難誘導活動等
救出・救護班	資機材整備等	救出・救護活動等
情報班	広報活動等	状況把握等
給食・給水班	器具の点検等	給食・給水活動



町からの補助金もあります

町では、自主防災組織の活動に必要な補助金を用意しています。立ち上げ時に防災資機材をまとめて購入できる「防災資機材整備事業」と毎年の自主防災組織の防災訓練等で使用できる「活動支援事業」があります。自主防災組織の活動に役立ててください。

【防災資機材整備事業】
500,000 円

【活動支援事業】
自主防災組織加入数 100 世帯以上
年額 150,000 円

【活動支援事業】
自主防災組織加入数 100 世帯未満
年額 100,000 円

今できる、災害への備え!

地域の危険度を知ろう

いざというときに安全な場所に避難することが重要です。

ハザードマップで家の周りの地形や地質、川や崖地など危険な場所、過去の災害とその対策について家族で確認しておきましょう。



非常持出品の用意

避難所で2～3日間過ごすときに必要な備蓄品

非常持出品は、災害の危険が迫り自宅から避難するとき、最初に持ち出すものです。非常持出袋などにまとめ、すぐに持ち出せる場所に用意しておきましょう。



非常備蓄品を揃えよう

自宅で7日間過ごすときに必要な備蓄品

大災害発生時、支援物資がすぐに届くとは限りません。コンビニなどのお店にも人が殺到し、商品がすぐなくなる可能性があります。電気、水道、ガスといったライフラインは、大災害発生直後は停止し、利用できなくなることを覚悟しておきましょう。



家具・家電の転倒防止

避難経路をふさがないように、出入り口の近くに物を置かない。

転倒しても避難経路をふさがらない置き方をして、壁に固定する。ガラスには飛散防止フィルムを貼っておきましょう。



住まいへの備え

日常から住まいの点検を定期的に行いましょう。

台風・風水害に備えて、早めに住まいやその周辺の整備・点検をしましょう。



家族で話し合おう

災害はいつ襲ってくるかわかりません。

災害の発生に備え、各自の役割分担や連絡方法、避難方法、避難場所などをあらかじめ話し合っておきましょう。



非常持出品例

避難に備えて、すぐに持ち出せるように準備しておきましょう。

<input type="checkbox"/> 懐中電灯 (予備の電池も)	
<input type="checkbox"/> 携帯ラジオ (予備の電池も)	
<input type="checkbox"/> 携帯電話・スマートフォン (予備のバッテリーも)	
<input type="checkbox"/> ヘルメットまたは防災ずきん	
<input type="checkbox"/> 非常食	乾パンや缶詰のように火を通さなくて食べられるもの。最近では手軽に作れておいしい各種の非常食が市販されている。
<input type="checkbox"/> 飲料水	ペットボトルのミネラルウォーターなど
<input type="checkbox"/> 救急薬品・常備薬	○消毒薬 ○解熱剤 ○胃腸薬 ○かぜ薬 ○鎮痛剤 ○目薬 ○体温計 ○ばんそうこう ○ガーゼ ○包帯 ○三角巾 ○マスク など。持病のある人は常備薬も忘れずに
<input type="checkbox"/> 衛生用品	○せっけん ○ティッシュ ○生理用品 ○こどものおむつ ○ドライシャンプー など
<input type="checkbox"/> 貴重品	○現金 ○預貯金通帳 ○健康保険証 ○免許証 ○印鑑 など
<input type="checkbox"/> 衣類	○上着 ○下着 ○靴下 ○軍手 ○雨具 ○ハンカチ ○タオル など
<input type="checkbox"/> 生活用品	○ライター (マッチ) ○缶切り ○ビニール袋 ○ブルーシート など
<input type="checkbox"/> その他	○紙コップ ○紙皿 ○ラップ・アルミホイル ○ろうそく ○ひも ○ロープ ○フェルトペン ○新聞紙 ○筆記用具 ○メモ帳 など

防災情報を入手しよう

災害時には、いち早く正確な情報を得ることが重要です。

戸別受信機、スマホアプリ、テレビ（ケーブルテレビ）、ラジオ（コミュニティFM）、緊急速報メール、SNS、広報車・消防団による広報に加え、いろいろな情報源がありますので、積極的に活用しましょう。

戸別受信機から入手

大雨や台風などのときは、戸別受信機で、里庄町からの避難情報や避難所の開設状況をお知らせします。また、震度4以上の地震が里庄町で起きる数秒前に音声とテレビを活用してお知らせします。



戸別受信機

設置を希望される方 里庄町総務課に備え付けている申込書に、必要事項を記載のうえ提出してください。

里庄町ホームページからもお申し込みいただけます。

・URL <https://www.town.satosho.okayama.jp/soshiki/2/5953.html>



アプリから入手

里庄町の災害時の避難情報などがスマートフォンで確認できる**防災情報ポータルアプリ 防災サポ!**



テレビから入手

デジタルデータ放送（リモコンの「d」ボタンを押す）からも、リアルタイムで情報を入手することができます。（発信情報：気象情報、河川水位や潮位などの観測情報、避難情報、土砂災害危険度情報など）

インターネットから入手

おかやま防災情報メール

登録いただいた方のスマートフォンや携帯電話に、県内の気象情報などの情報をメールでお送りするサービスです。



岡山県総合防災情報システム おかやま防災ポータル

県内の気象情報（注意報・警報、気象レーダー等）、雨量情報、土砂災害危険度情報、河川水位情報、河川カメラ情報等をリアルタイムで確認することができます。

- ・検索サイト [岡山県 防災 検索](#) 「おかやま防災ポータル」を選択
- ・URL <https://www.bousai.pref.okayama.jp/bousai/>

岡山県防災マップ

洪水、土砂災害、地震による危険度情報や市町村のハザードマップ一覧を掲載しています。

- ・URL <https://www.gis.pref.okayama.jp/bousai/>

おかやま全県統合型 GIS

岡山県の防災、土地利用、社会基盤、農業農村、文化財などの土地情報を地図で検索・閲覧できるサイトです。

- ・URL <http://www.gis.pref.okayama.jp/pref-okayama/Portal>

気象庁

- ・URL <https://www.jma.go.jp/>

国交省ハザードマップポータルサイト

- ・URL <https://disaportal.gsi.go.jp>



災害時に役立つ 防災情報無料アプリを インストールしておきましょう



中国エリアの停電情報がスマートフォンで確認できる

停電情報アプリ 停電情報



NHKの最新ニュースと共に災害情報もチェックできる

NHK ニュース・防災



地震や豪雨などの災害情報を通知

Yahoo! 防災速報



すぐ近くにある避難場所の位置が分かり
たどり着ける

防災情報 全国避難所ガイド



※上記アプリは一般例です。自分にあったアプリを探していつでも使えるように準備しておきましょう。アプリのインストールや通信時には通信費がかかります。

災害用伝言ダイヤル 171

災害用伝言ダイヤル（171）は、被災地の方の電話番号をキーにして、安否等の情報を音声で登録・確認できるサービスです。

NTT東日本・NTT西日本の加入電話、ISDN、公衆電話、ひかり電話、特設公衆電話、および携帯電話からご利用できます。

伝言の録音	171-1-□□□-□□□-□□□□ (相手の電話番号)
伝言の再生	171-2-□□□-□□□-□□□□ (自宅の電話番号)
伝言内容	1 伝言あたり 30 秒以内
伝言保存期間	録音してから 48 時間
伝言蓄積数	1 電話番号あたり 10 伝言まで
利用可能電話	一般電話（プッシュ回線、ダイヤル回線）、 公衆電話、携帯電話（一部除く）等